

事業所名

児童発達支援 にじっこらんど宮の沢

## 支援プログラム

作成日

2025年

1月

8日

法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの個性を大切に、一人ひとりが輝ける療育を目指します。</li> <li>子どもが将来社会の一員として幸せに暮らせるよう、遊びやスポーツを通じてその土台作りのお手伝いをします。</li> <li>保護者と関係機関(保育園・幼稚園・小学校)との連携を大切にします。</li> </ul>		
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊びや活動を通して子どもの発達を支援していきます。</li> <li>子ども達一人ひとりの発達の状況を把握しながら自立に向けて基本的な生活のルールを自然に体得できるよう個人個人の療育を心掛けます。</li> <li>子どもを取り巻く家族についても支援していきます。</li> </ul>		
営業時間	9時0分から	18時0分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	子どもの心身の状態をきめ細やかに確認し、健康な心と身体を育て、安全な生活を作り出すことを支援していきます。また、生活の中で、様々な遊びを通じた学びが促進されるよう環境を整えていき、障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化しています。	
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得を図っていきます。また、視覚や聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援しています。そのため、本児の感覚の特性(過敏や鈍麻)を踏まえ、偏りに対する環境調整等を行っています。	
	認知・行動	一人一人の認知の特性を理解し、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援していきます。そのために物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、大小、数、時間等の概念の形成を図り、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるように整えています。また、感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障がいへの予防及び適切行動への対応の支援を行っています。	
	言語コミュニケーション	言葉によるコミュニケーションだけではなく、表情や身振り等を用いての意思のやりとりも含め、コミュニケーションに必要な基礎的な能力を身につけることができるよう支援しています。また、伝えようとする側と受け取る側との人間関係や場、相手の状況に応じて、主体的にコミュニケーションを展開できるようにも支援していきます。	
	人間関係社会性	基本的な信頼感を持つことができるよう、環境に対する安心感・信頼感、人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育む支援を行います。また、集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援するとともに、共に活動することを通じて、相互理解や互いの存在を認め合いながら、仲間づくりにつながるようにしていきます。	
家族支援	定期的な面談、また日々の療育のフィードバックを行っています。また、家族からの相談に対して、助言やアタッチメント形成(愛着行動)等への支援もしています。	移行支援	関係機関との定期的に情報共有を行っています。
地域支援・地域連携	相談室や保健センターなどとも連携が取れるように体制を整えています。また、YOSAKOIやサマーフェスティバルなどもしています。	職員の質の向上	事業所内外の研修やカンファレンスを行っています。
主な行事等	季節の製作、五天山公園や農試公園などに遠出もしています。		